所沢市民文化センターミューズ・ホールオルガニストがオルガンの“今”を発信！

MUSE オルガン通信 2023年5月

皆様こんにちは。第４代ミューズ・ホールオルガニストの三原麻里です。2020年以来、海外オルガニストによる公演がなく、ずっと楽しみにしていらした方も多いのではないでしょうか。満を持して、今年６月に世界的オルガニスト オリヴィエ・ラトリーがミューズに初登場します。この記事を読んで、さらにコンサートをお楽しみいただけたら嬉しいです！！

オリヴィエ・ラトリー

6/25 公演の聴きどころ

パリ・ノートルダム大聖堂の正オルガニストがミューズ初登場！

パリの中心、ノートルダム大聖堂

パリを流れるセーヌ川の中洲・シテ島にノートルダム大聖堂は建っています。地理的にも音楽的にも、文字通りパリの中心にあるノートルダム大聖堂。その正オルガニストに若干23歳で就任したオリヴィエ・ラトリーは、今もなお世界のオルガン界トッププレイヤーとしてオルガンシーンを牽引しています。

撮影：三原麻里

ラトリーが正オルガニストをつとめる世界遺産のノートルダム大聖堂。
カヴァイエ＝コルが製作した美しいオルガンでも知られる。

©Devan Parouchev

Profile

オリヴィエ・ラトリー [オルガン]

23 歳の若さでノートルダム大聖堂の正オルガニストに任命され、2012年よりモントリオール響の名誉オルガニストを務めている。
50ヵ国以上でコンサートを行い、“即興演奏”の第一人者としても高い評価を集め、世界の頂点に君臨する天才オルガニスト。
待望のミューズ初登場。

2023年6月25日[日]　15時開演 オリヴィエ・ラトリー[オルガン]　＼好評発売中／　公演詳細⇒

プログラムなど詳細はちらし、ミューズHPをご覧ください。

超絶テクニックと色彩豊かな音色の選択に注目!!

ラトリーは長い手足を縦横無尽に動かし、難曲も軽々と弾きこなしてしまうテクニックの持ち主。そして経験豊富な彼が選ぶレジストレーション（音色の組み合わせのこと）は緻密で色彩豊かです。
プログラム前半に据えられた、ワーグナーやリスト、サン＝サーンスなどの編曲作品は、彼のテクニックとレジストレーションの粋を余すことなく堪能できるでしょう。ミューズのオルガンからラトリーがどのような音色を引き出すのか…！とても楽しみです。

2020 年オーバーホールを終えたアークホールのオルガン。日本有数の規模を誇り 75 種の音色、5563 本のパイプを有する。

フランスのオルガン曲といえばこれ!!

魅惑のメロディーと華やかな技巧

ヴィドール（1844-1937）は、日本ではあまり知られていない作曲家ですが、フランスのオルガン音楽といえばこの人！と言える作曲家の 1 人です。彼は巨大化したパイプオルガンの機能を「これでもか！」と言わんばかりに活用した『オルガン交響曲』というジャンルを確立しました。第５番は魅惑的なメロディーと、華やかな技巧が織り込まれた代表曲です。オルガンらしい荘厳な響きを堪能したい方に、ぜひ聞いて頂きたい一曲です。

シャルル＝マリー・ヴィドール

聴き逃してはいけない即興！

フランスで五指に入る**即興演奏の名手**でもあるラトリー。ノートルダム大聖堂では礼拝の中でその場の雰囲気・進行や、その日歌われる讃美歌などに合わせて、ラトリーが必要な音楽を即興で演奏するのですが、その即興演奏が実にゴージャス！空気を一変させる即興演奏をお聴き逃しなく！！！

次回は、原田真侑さんがお送りします。どうぞお楽しみに♪

ミューズ・ホールオルガニスト
三原 麻里　Mari Mihara

東京藝術大学オルガン科および、同大学院修了。平成 25 年度文化庁新進芸術家海外研修員としてフランスで研鑽を積む。2012 年、第 23 回シャルトル国際オルガンコンクール優勝で世界の注目を集めた。ヨーロッパ各地のオルガンフェスティバルに招待され演奏ツアーを行っている。